国立特別支援教育
総合研究所

2021

要覧

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
NISE
National Institute of Special Needs Education

NISE
国立特別支援教育総合研究所要覧
National Institute of Special Needs Education, Japan 2021

理事長あいさつ

国立特別支援教育総合研究所は、我が国における障害のある子供の教育の充実・発展に寄与するため、昭和46年に、当時の文部省直轄の研究所（国立特殊教育総合研究所）として設置されました。その後、国の行政改革の一環で、平成13年に独立行政法人に移行し、平成19年には「国立特別支援教育総合研究所」と名称変更して、現在に至っています。

研究所は、こうした変遷を経て、令和３年度に創立50周年を迎えます。

独立行政法人に移行してからは、文部科学大臣から５年間にわたる中期目標の指示を受けて、研究所が自ら中期計画を策定し、種々の事業を実施してきました。令和３年度からは、令和７年度までの第５期中期目標期間を迎えています。

我が国は、平成26年１月に障害者権利条約を批准しました。そこで提唱されたインクルーシブ教育システムの構築に向けて、特別支援教育を一層推進していくこととしています。本研究所は、第５期中期目標期間においても、職員一同気持ちを新たにして、研究活動や研修事業、情報収集・発信等を行い、特別支援教育の推進に努めていく所存です。

研究活動としては、重点課題研究や障害種別特定研究に取り組むこととしています。新たにICT、幼児教育、キャリア教育や外国人児童生徒等といった障害種によらないテーマ別研究班を新設し、より教育現場の喫緊の課題に対応した研究を進めていくこととしています。

研修事業については、専門研修において、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しつつ、これまでの集合・宿泊形式とオンライン形式を適切に組み合わせて実施するなど、インターネットの活用にも努めていく予定です。

情報収集・発信に関しては、地域における特別支援教育の理解啓発を図るため、教育委員会、特別支援教育センター、関係団体等と連携を図りながら、講演や研究協議、ICT機器などの教材展示等を行う特別支援教育推進セミナーを実施します。また、特別支援教育の理解啓発・普及を目的としたリーフレットを刊行します。

さらに、第４期中期目標期間の実践を受けて、発達障害教育推進センターでは、「トライアングル」プロジェクトの継続した活動等を行います。インクルーシブ教育システム推進センターでは、インクルーシブ教育システムの構築に関する地域の課題解決に向けて、公募により決定した13市町の教育委員会と研究所の職員が連携・協働して取り組む地域支援事業等を行います。

特別支援教育の推進には、日ごろの地道な取組が重要です。そのため、本研究所は、関係諸機関との連携協力に努め、種々の活動の更なる充実を図っていきたいと考えています。

今後とも、国民の皆様をはじめ、関係各位の一層のご支援とご協力をお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。

令和３年５月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（NISE）
理事長　宍　戸　和　成

目　次

理事長あいさつ…… 1
NISEのミッション …… 2
ミッションを達成するための取組…… 2
NISEの沿革 …… 2
NISEの組織 …… 3
NISEの研究者 …… 5
NISEの研究活動 …… 9
NISEの研修事業 …… 15
NISEの情報普及活動 …… 17
インクルーシブ教育システム推進に向けた
　国際事業及び自治体・学校への支援…… 21
関係機関等との連携・協力…… 23
講義配信「NISE学びラボ」コンテンツ一覧 …… 24
最新の研究成果物リスト（研究成果報告書以外）… 29
NISEの財務・施設 …… 31
連絡先・交通案内…… 32

・本冊子における「NISE（ナイセ）」とは、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所のことを指します。
・本冊子の記載内容は、特に断りのない限り、令和３年５月１日現在のものです。
・社会情勢や自然災害により、やむを得ず各事業を中止または変更させていただく場合があります。

NISEのミッション（使命）※

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、国や地方公共団体、関係機関等と連携・協力しつつ、教育実践を研究するフィールドを有し、実践的な研究と研修を一体的に行うことができる法人の強みを生かしながら、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッション（使命）としています。

※ミッションは令和３年３月に文部科学大臣から指示されたNISEの第５期中期目標において示されたものです。

ミッションを達成するための取組

・特別支援教育に係る実際的・総合的研究の推進による国の政策立案・施策推進等への寄与及び教育現場への貢献
・各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の養成
・特別支援教育に関する情報普及の充実や自治体・学校への支援

NISEの沿革

昭和46年（1971年）10月
国立特殊教育総合研究所が発足
平成13年（2001年）４月
独立行政法人国立特殊教育総合研究所が発足
平成16年（2004年）４月
組織改編により企画部、教育支援研究部、教育研修情報部、教育相談センター設置
平成18年（2006年）５月
教育相談センターを教育相談部に改組
平成19年（2007年）４月
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更
平成20年（2008年）４月
教育支援研究部を教育支援部に名称変更、発達障害教育情報センター設置、研究班体制を開始
平成23年（2011年）４月
組織改編により企画部、教育支援部、教育相談部、教育研修・事業部、教育情報部設置
平成24年（2012年）４月
教育相談部を教育支援部に統合
平成28年（2016年）４月
総務部、研究企画部、研修事業部、情報・支援部、インクルーシブ教育システム推進センターの４部１センター制に組織改編
平成29年（2017年）４月
総務部、研究企画部、研修事業部、情報・支援部、発達障害教育推進センター、インクルーシブ教育システム推進センターの４部２センター制に組織改編
令和３年（2021年）４月
西日本ブランチ広島オフィス設置

NISEの組織

（五十音順）

運営委員

理事長　宍戸和成

理事　梅澤敦

- **参与**
- **内部統制推進室**
- **監査室**

監事（非常勤）
浅野良一
中家華江

研究企画部

研究企画部長　牧野泰美

上席総括研究員	総括研究員	主任研究員	研究員
牧野泰美	山本晃	加藤敦	平沼源志
金子健	横尾俊	北川貴章	

研修事業部

研修事業部長　澤田真弓

上席総括研究員	主任研究員	研究員
澤田真弓	久道佳代子	井口亜希子
吉川知夫	坂本征之	西村崇宏
	柘植美文	
	土屋忠之	
	真部信吾	
	吉川和幸	

情報・支援部

情報・支援部長　棟方哲弥

上席総括研究員	総括研究員	主任研究員	研究員
棟方哲弥	大崎博史	青木高光	河原麻子
横倉久	滑川典宏	小澤至賢	
		土井幸輝	

発達障害教育推進センター

発達障害教育推進センター長　笹森洋樹

上席総括研究員	総括研究員	主任研究員	研究員
笹森洋樹	井上秀和	榎本容子	五島脩
	廣島慎一	竹村洋子	
		玉木宗久	

インクルーシブ教育システム推進センター

インクルーシブ教育システム推進センター長　久保山茂樹

上席総括研究員	総括研究員	主任研究員	研究員
久保山茂樹	生駒良雄	伊藤由美	神山努
		海津亜希子	
		小西孝政	
		柳澤亜希子	
		涌井恵	

総務部

総務部長　太田敏彦

- 専門員（研究連携・情報普及担当）
- 総務部付
- 総務企画課長　桑田美季
  - 総務係
  - 広報係
  - 人事係
  - 企画評価係
  - 研究推進係
  - 専門職員（研究推進担当）
- 財務課長　小坂博一
  - 財務係
  - 契約係
  - 専門職員（施設担当）
  - 専門職員（財務担当）
- 研修情報課長　齊藤光男
  - 資質向上支援係
  - 図書・情報システム室長　小池正利
    - 図書・情報係
    - 専門職員（システム担当）
  - 研修支援室長　佐藤敏幸
    - 研修係
  - 専門職員（研修情報担当）
  - 専門職員（情報セキュリティ担当）

西日本ブランチ広島オフィス

役員・職員数

役　員	2（2）
研究職	40（3）
一般職	30
合　計	72（5）

（ ）内は非常勤で外数
（令和３年５月１日現在）

研究企画部

NISEの研究に関する総合的な企画立案及び調整、特別支援教育政策に係る情報収集、関係省庁との連携・連絡調整などの業務を行っています。

また、NISEの業務に関する評価の企画立案についての業務を行っています。

研修事業部

NISEが行う研修事業の企画立案、研修プログラムの開発、研修修了者のフォローアップ、インターネットによる講義配信コンテンツの作成及び提供による教員等の資質向上支援、免許法認定通信教育などの業務を行っています。

情報・支援部

特別支援教育に関する情報の収集・蓄積・提供や理解啓発活動、特別支援教育に関する教材及び教育支援機器に関する情報・資料の収集・提供や評価・活用及び関係者の支援などの業務を行っています。

学校教育支援・連携として、園・学校長会や特別支援教育センター等の関係団体等と連携し、特別支援教育の理解啓発を推進するための情報提供や特別支援教育の充実を図るための研究成果等の普及を行っています。海外に設置された在外教育施設に対して、定期的に特別支援教育に関する情報提供や相談支援を実施しています。

NISEが主催するセミナーの企画立案及び実施、保護者団体等との連携事業の企画立案及び実施などの業務を行っています。

発達障害教育推進センター

発達障害に関する最新の情報について、発達障害教育推進センターWEBサイトや展示室の公開等を通じて、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員や保護者をはじめとして幅広く国民に提供し、理解啓発を一層推進するとともに、教育現場で必要な基本的な知識と指導・支援に関する情報を提供しています。また、発達障害教育に関する研究成果の普及や教育実践セミナーの開催、教育委員会等と連携した地域における理解啓発や人材育成の取組を通じて、発達障害教育に関する理解推進と実践的な指導力の向上を図っています。

インクルーシブ教育システム推進センター

インクルーシブ教育システム推進に向けて、都道府県及び市町村が直面する課題について、その解決を図るため参画した都道府県及び市町村教育委員会とNISEが協働して実施する「地域支援事業」や、国際的動向や諸外国の最新情報の収集及び海外との研究交流を行う「国際事業」、さらに、インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）による「情報発信」等の業務を行っています。

総務部

NISEの中期計画及び年度計画の策定、広報、職員の人事、予算・決算、施設・設備管理や各部の業務支援などの業務を行っています。

運　営　委　員

（令和３年５月１日現在）

石原　保志　国立大学法人筑波技術大学長
市川　宏伸　一般社団法人日本自閉症協会会長
市川　裕二　全国特別支援学校長会会長（東京都立あきる野学園校長）
大関　浩仁　全国連合小学校長会特別支援教育委員会委員長（品川区立浜川小学校長）
岡田　　俊　国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部長
喜多　好一　全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会副会長（江東区立豊洲北小学校長）
桐谷　次郎　神奈川県教育委員会教育長
黒木　健一　宮崎県教育研修センター所長
貞広　斎子　国立大学法人千葉大学大学院教育学研究科教授
滝　　充　国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター客員研究員
外山恵美子　独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター研究企画部長
新倉　　聡　横須賀市教育委員会教育長
西垣　昌欣　国立大学法人筑波大学附属久里浜特別支援学校長
野澤　和弘　植草学園大学副学長（一般社団法人スローコミュニケーション代表）
野呂　文行　日本特殊教育学会理事長（国立大学法人筑波大学人間系教授）
笛木　啓介　全日本中学校長会生徒指導部長（大田区立大森第三中学校長）
松為　信雄　東京通信大学教授
三浦　友也　国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局理療教育・就労支援部長
箕輪　恵美　全国国公立幼稚園・こども園長会会長（中央区立有馬幼稚園長）
宮﨑　英憲　全国特別支援教育推進連盟理事長
茂木　裕之　全国高等学校長協会特別支援学校部会理事長（東京都立青鳥特別支援学校長）

NISEの研究者

研究企画部

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
牧野　泰美	(兼) 研究企画部長 上席総括研究員	聴覚・言語障害、 コミュニケーション障害	言語指導、言語獲得、コミュニケーション関係、吃音、 自己意識
	「ことばの教室」の機能・役割と担当教師の専門性 言語機能とその障害 子供と教師のコミュニケーション関係の構築 子供の言語発達への支援 吃音のある子供の自己肯定感やレジリエンスへの支援		
金子　　健	上席総括研究員	視覚障害	自立活動、触覚教材、乳幼児支援
	視覚に障害のある子供の触覚活用や空間概念形成 3Dプリンターによる立体教材等の触覚教材の作成と活用 弱視用拡大教科書・拡大教材の作成と活用 乳幼児期の視覚障害児に対する支援		
山本　　晃	総括研究員	聴覚障害	自立活動、言語指導、授業研究
	聴覚障害教育全般についての研究 聴覚障害児の言語指導、感情への気づきに関する研究		
横尾　　俊	総括研究員	知的障害	教育相談、聾·知的障害、イギリスの障害児教育制度
	知的障害教育論、知的障害教育における学習評価の在り方 イギリスの障害児教育制度と保護者との合意形成のプロセス		
加藤　　敦	主任研究員	重複障害	盲ろう教育、保護者支援、教材・教具開発
	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろう児の理解と指導・支援 障害のある幼児児童の保護者への支援 子供の実態に応じた教材・教具の作成		
北川　貴章	主任研究員	肢体不自由	自立活動、授業研究、教育課程
	身体の動きを中心とした自立活動の指導と授業研究 個別の指導計画の作成システム 肢体不自由児の障害特性に応じた教科指導及び重度・重複障害児の指導に関する授業研究		
平沼　源志	研究員	知的障害、発達障害	特別支援学級、体育、アダプテッド・スポーツ
	特別支援学級担任の専門性、アダプテッド・スポーツの役割		

研修事業部

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
澤田　真弓	(兼) 研修事業部長 上席総括研究員	視覚障害	自立活動、教科指導、点字指導
	視覚障害教育全般 自立活動、教科指導 (国語)、点字指導 (中途視覚障害の指導を含む) 拡大教科書 (拡大教材作成)、デジタル教科書		
吉川　知夫	上席総括研究員	肢体不自由、言語・コミュニケーション障害	自立活動、授業研究、拡大・代替コミュニケーション
	肢体不自由及び重度・重複障害の子供の言語・コミュニケーション評価と支援 授業改善、自立活動の個別の指導計画作成		
久道佳代子	主任研究員	重複障害、肢体不自由	授業研究、教員研修
	重複障害児童・生徒の指導に関する授業研究 教員の資質能力・専門性向上のための研究・研修		
坂本　征之	主任研究員	知的障害、発達障害	進路支援、地域移行支援、キャリア発達支援
	特別支援学校高等部や中学校卒業時の進路選択 特別支援学校のセンター的機能と地域生活における切れ目ない支援 障害のある児童生徒の卒業後を見据えたキャリア発達を支援する教育		

柘植　美文	主任研究員	自閉症、発達障害	やりとり、絵日記、共同注意、情動の表出
	自閉症のある子供の情動の表出に関する指導 自閉症、発達障害のある子供の実態把握と教育的支援 自閉症のある子供の自立活動の指導		
土屋　忠之	主任研究員	病弱・身体虚弱	精神疾患・心身症、病院内教育
	病弱教育論 病弱教育における授業論 精神疾患・心身症（心の病気）のある児童生徒への教育的支援		
真部　信吾	主任研究員	自閉症、知的障害、 発達障害	自立活動、授業研究、校内支援体制
	自閉症のある児童生徒の自立活動の指導 特別支援学校（知的障害）における授業づくり 行動障害を有する知的障害を伴う自閉症児への教育的支援		
吉川　和幸	主任研究員	発達障害、知的障害	幼児期の特別支援教育、インクルーシブな保育
	障害のある幼児の個別の指導計画、保育記録、保育カンファレンス 障害のある幼児が自己発揮するための保育の環境構成、環境調整		
井口亜希子	研究員	聴覚障害	言語獲得、コミュニケーション、手話・指文字
	乳幼児期の聴覚障害児の言語発達（音声言語・手指言語） 通常学級で学ぶ聴覚障害児への支援 聴覚障害児・者への情報保障		
西村　崇宏	研究員	人間工学、視覚障害	ヒューマンインタフェース、アクセシビリティ
	ICT機器のユーザビリティ 視覚障害と情報アクセシビリティ		

情報・支援部

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
棟方　哲弥	（兼）情報・支援部長 上席総括研究員	教育工学	アシスティブ･テクノロジー、教材・教具開発、 教育の情報化、国際比較
	特別なニーズのある子供のICT活用（支援機器、校務支援システムを含む。） 学校卒業後における障害のある人の学びに関する施策の動向 障害者権利条約実施の国際動向		
横倉　　久	上席総括研究員	知的障害、聴覚障害	学校経営、教育課程、授業づくり
	特別支援教育を推進する学校経営 特別支援学校・特別支援学級における教育課程の編成・実施・評価 個々の子供の教育的ニーズに応じた教科指導・授業づくり 保護者支援・生涯学習		
大崎　博史	総括研究員	病弱・身体虚弱、知的障害、 肢体不自由	合理的配慮の提供、メタ認知、自立活動、訪問教育
	合理的配慮の提供と特別支援教育を推進するための高等学校校内研修プログラムの開発研究 病弱教育、知的障害教育における自立活動の指導 教育と福祉、医療との連携促進研究（放課後等デイサービス事業所、重症心身障害児者施設等） 訪問教育・病弱教育		
滑川　典宏	総括研究員	言語障害教育	ことばの教室、自己効力感、言語指導
	ことばの教室に通う子供たちの主体的な学びを育む指導や支援 言語に障害のある中学生への指導・支援の在り方、一人ひとりを大切にした校内支援体制づくり		
青木　高光	主任研究員	知的障害、自閉症	拡大・代替コミュニケーション、教材・教具開発
	視覚的な手段や機器を用いたコミュニケーション支援 ICTを活用した学習や生活の支援方法		
小澤　至賢	主任研究員	重複障害	コンサルテーション、地域支援システム
	重複障害のある子供の教育 学校コンサルテーション、学校評価 、学校マネジメント センター的機能 、スクールクラスター		
土井　幸輝	主任研究員	視覚障害、生活支援工学	アクセシブルデザイン、感覚代行
	アクセシブルデザインの学習を通じた共用品・共用サービスの重要性を学ぶ教育 視覚障害児のための感覚代行ツールに関する研究		

河原　麻子	研究員	盲ろう	コミュニケーション、就労、情報入手支援
	盲ろう児と他者とのかかわり 卒業後を見据えた盲ろう児童生徒の就労支援		

発達障害教育推進センター

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
笹森　洋樹	(兼) 発達障害教育推進センター長 上席総括研究員	発達障害、情緒障害	通級による指導、LD･ADHD･自閉症等、 学校･教師支援
	通級による指導、通常の学級における発達障害等のある児童生徒の指導・支援 不登校等の情緒障害のある児童生徒の支援 学校コンサルテーション、保護者支援		
井上　秀和	総括研究員	発達障害、聴覚障害	高等学校教育、通級による指導、 地域の支援体制の構築
	通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮 高等学校における特別支援教育推進のための施策展開、高等学校における通級による指導		
廣島　慎一	総括研究員	発達障害、肢体不自由、 病弱・身体虚弱	教育相談、保護者対応、 特別支援学校のセンター的機能
	通級による指導の担当者の専門性の在り方について 子供の学びを支える保護者・学校・関係機関との連携		
榎本　容子	主任研究員	発達障害、 職業リハビリテーション	就労支援、移行支援、キャリア教育
	発達障害者等の就労・自立に当たっての課題、福祉・労働等の関係機関との連携 高等学校・大学等から雇用への移行支援 学童期から青年期までの発達段階に応じたキャリア教育教材・体験的プログラム開発		
竹村　洋子	主任研究員	発達障害、知的障害	教師－児童間相互作用、児童とのかかわりに対する教師の評価、教師支援、連携
	通常の学級における発達障害等のある児童生徒への教育と支援 通級による指導、教師と保護者や関係機関等との連携		
玉木　宗久	主任研究員	発達障害	LD･ADHD･自閉症等、学習のつまずき、認知機能
	LD、ADHD、自閉症等の発達障害のある子供の学習のつまずきの特性、認知特性		
五島　　脩	研究員	病弱・身体虚弱、教育工学	病弱教育、慢性疾患、ICT活用
	病弱教育におけるICT活用・授業作り ICTを活用した教育的支援・学習環境の構築		

インクルーシブ教育システム推進センター

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
久保山茂樹	(兼) インクルーシブ教育システム推進センター長、上席総括研究員	言語・コミュニケーション障害	子育て支援、幼稚園・認定こども園・保育所、 地域の支援システム
	言語発達の遅れがある子供とのかかわり ことばの教室の役割、幼稚園・認定こども園・保育所における特別支援教育 保護者への支援・保護者との協働、地域における早期からの支援システム 乳幼児健診における発達相談		
生駒　良雄	総括研究員	教育工学、小児保健	事例調査、共起分析、地域資源、センター的機能、 支援施策、教具開発、病因別統計
	肢体不自由児の医学的理解 子供の身体発育と運動発達 諸外国における障害のある子供の教育		
伊藤　由美	主任研究員	発達障害、情緒障害	教育相談、心理的サポート
	発達障害のある子供への心理的サポート、通級による指導		
海津亜希子	主任研究員	発達障害 (特に学習障害)	アセスメント、RTI、個別の指導計画
	通常の学級における、LD等、学習につまずきのある子供の早期把握、早期支援 多層指導モデルMIM (ミム) を通じた地域ワイドの研究		

小西　孝政	主任研究員	病弱・身体虚弱、視覚障害	筋疾患、地域支援
	筋ジストロフィー等の筋疾患のある児童生徒への教育活動の展開 小・中学校における病弱教育の推進 特別支援学校の地域におけるセンター的機能と特別支援教育コーディネーターの役割		
柳澤亜希子	主任研究員	自閉症	障害児・者のきょうだい支援、家族支援、 ペアレント・メンター
	自閉症のある子供の家族支援 幼児期における自閉症のある子供の指導と支援 自閉症のある子供の自立活動の指導		
涌井　　恵	主任研究員	発達障害、知的障害	協同学習、マルチ知能、学び方を学ぶ、自己調整学習、 学びのユニバーサルデザイン
	通常の学級における学び方自己選択式の学び合いに関する研究 知的障害のある子供の社会性の発達と指導 知的障害のアセスメントの理論と実際（行動観察編）、 諸外国における障害のある子供の教育		
神山　　努	研究員	知的障害、発達障害	行動分析、保護者支援、問題行動
	知的障害や発達障害のある子供の、特に問題行動に対する支援について行動分析学に基づく研究 行動分析学に基づく指導や支援に関する保護者支援や教員研修の研究		

特任研究員

名前	専門分野	キーワード
李　　熙馥	自閉症、発達障害	韓国、自閉症のある自己理解・他者理解、ナラティブ、発達
是永かな子	知的障害、発達障害	北欧、学校教育制度、歴史
千賀　　愛	教育学、教育史	ドイツ、特別支援教育、インクルージョン、特別ニーズ教育、デューイ
星　　祐子	重複障害	盲ろう教育、教育相談、保護者支援
山中　冴子	比較教育、 オーストラリア教育	オーストラリアにおけるトランジション支援、オーストラリアにおけるインクルーシブ教育
吉利　宗久	特別支援教育の学校制度	インクルーシブ教育、教育政策、アメリカの教育
渡邊　あや	教育学、教育社会学、 比較国際教育学	フィンランド、教育制度、教育行政、教育政策、比較教育学

NISEの研究活動

研究体制

令和３年度は、重点課題研究、障害種別特定研究、基礎的研究活動等を戦略的かつ組織的に実施します。

研究区分		研究の性格
重点課題研究		障害種の枠を超えて、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する研究。 ・教育課程に関する研究（国への政策貢献） ・切れ目ない支援の充実に関する研究（教育現場等の喫緊の課題に対応）
障害種別特定研究		各障害種における喫緊の課題の解決に寄与する研究。
その他	基礎的研究活動	テーマ別研究班及び障害種別専門分野の課題に対応する研究班における基盤的な研究。年次基礎調査や、指導の充実等に寄与する調査・分析、それらの結果の普及等の基礎的・継続的な研究活動。
	外部資金研究	科学研究費助成金等の外部資金を獲得して行う研究。
	受託研究	外部からの委託を受けて行う研究。

※この他、研究区分として、先端的・先導的研究、国の要請等に応じた研究、共同研究を設定しています。

重点課題研究

令和３年度研究課題一覧

研究の類型	研究課題名	研究チーム	研究代表者	研究期間
教育課程に関する研究	学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究	教育課程チーム	吉川　知夫	令和３～令和４年度
切れ目ない支援の充実に関する研究	ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究	ICTチーム	棟方　哲弥	令和３～令和４年度
	障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究	就学チーム	久保山茂樹	令和３～令和４年度
	高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究	進路指導チーム	伊藤　由美	令和３～令和５年度
	通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮に関する研究	教科指導チーム	井上　秀和	令和３～令和４年度

障害種別特定研究

令和３年度研究課題一覧

研究課題名	研究チーム	研究代表者	研究期間
知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究	学習評価チーム	横尾　　俊	令和３～令和４年度

基礎的研究活動

障害種の枠を超えて、今後の学校教育において検討すべき課題や現場の喫緊の課題について基礎的な調査を含めた研究活動を行う４つのテーマ別研究班と、９つの障害種別専門分野の課題に対応する研究班で構成されています。

令和３年度研究班一覧

研究班		班長	副班長
テーマ別研究班	特別支援教育におけるICT、教材・教具の活用に関する研究班（ICT班）	青木　高光	土井　幸輝
	障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援に関する研究班（キャリア班）	榎本　容子	伊藤　由美 坂本　征之
	乳幼児期の特別支援教育に関する研究班（幼児班）	久保山茂樹	吉川　和幸
	外国につながりのある子供の特別支援教育に関する研究班（外国人等班）	澤田　真弓	滑川　典宏
障害種別専門分野の課題に対応する研究班	視覚に障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（視覚班）	金子　　健	土井　幸輝
	聴覚に障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（聴覚班）	山本　　晃	－
	知的障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（知的班）	涌井　　恵	坂本　征之
	肢体不自由のある子供の特別支援教育に関する研究班（肢体不自由班）	北川　貴章	－
	病弱・身体虚弱等の子供の特別支援教育に関する研究班（病弱班）	土屋　忠之	大崎　博史
	言語に障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（言語班）	滑川　典宏	久保山茂樹
	自閉症のある子供の特別支援教育に関する研究班（自閉症班）	柳澤亜希子	柘植　美文
	発達障害のある子供又は情緒障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（発達・情緒班）	井上　秀和	廣島　慎一
	重複障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（重複班）	小澤　至賢	加藤　　敦

詳しくはこちら→

NISE WEBサイト ＞ 研究紹介

https://www.nise.go.jp/nc/study

外部資金研究

令和３年度に科学研究費助成事業（科研費）により実施する研究課題は以下のとおりです。

令和３年度 科研費による研究課題一覧

研究種目	研究課題名	研究代表者	研究期間
基盤研究（B）	音声情報が付加された触読し易いUV点字による点字学習教材の製法確立と使用感評価	土井　幸輝	令和元～４年度
	多様な子どもの「学び方を自ら学ぶ」能力とプロセスのアセスメント法と支援法の開発	涌井　　恵	令和２～４年度
	企業ニーズを踏まえた発達障害学生のキャリア意思決定を支える研修プログラムの開発	榎本　容子	令和２～５年度
	地域と連携・協働したペアレント・メンターの持続的活動を支える研修プログラムの開発	柳澤亜希子	令和２～６年度
基盤研究（C）	メンター機能を活用した自閉症幼児の家族への早期支援プログラムの開発と効果評価	柳澤亜希子	平成28～令和３年度
	通常学級担任教師と他者との連携に関する研究：特別支援教育連携尺度の開発	竹村　洋子	平成29～令和３年度
	特別支援学校（肢体不自由）における意思決定論的アプローチに基づく授業開発研究	北川　貴章	平成30～令和３年度
	通級による指導における発達障害のある子どもへの自尊感情の支援に関する研究	伊藤　由美	平成30～令和３年度
	中学ことばの教室担当者の役割とあり方に関する研究－教室経営ガイドブックの作成－	滑川　典宏	平成30～令和３年度
	合理的配慮の提供と特別支援教育を推進するための高等学校校内研修プログラムの開発	大崎　博史	平成30～令和３年度
	心の病気（適応の困難や発達障害の二次的障害含む）のある児童生徒への自立活動の提案	土屋　忠之	令和元～３年度
	共生社会の担い手を育む場としての幼稚園の役割	久保山茂樹	令和元～４年度
	吃音のある子どものレジリエンスの向上を目指した対話型教育実践プログラムの構築	牧野　泰美	令和２～４年度
	多様な障害種に対応した3Dプリンター教材データベースの構築と活用方法の研究	青木　高光	令和２～４年度
	算数指導に生かせるアイトラッキングを用いた新しい学習評価法の開発	玉木　宗久	令和２～４年度
	聴覚障害児における抽象語理解の現状とその発達的特徴に関する研究	山本　　晃	令和３～５年度
	中学校ことばの教室に通う言語に障害のある生徒の主体性を育む指導・支援の実践的研究	滑川　典宏	令和３～５年度
	高等学校における特別支援教育推進のための施策展開に関する研究	井上　秀和	令和３～５年度
挑戦的研究（萌芽）	任意の硬さに調整可能な皮膚モデルの製作技術の確立と硬さ識別学習キットの開発	土井　幸輝	令和元～３年度
	発達障害のある子どものキャリア発達支援に向けた家庭教育プログラムの開発	榎本　容子	令和２～４年度
若手研究	特別支援学級担任の省察に基づく専門性の解明に関する基礎的研究	平沼　源志	令和元～３年度
	自閉スペクトラム症児への子育て支援における階層的支援システムの開発と評価	神山　　努	令和元～３年度
	全盲児の能動的なタブレット活用を支援する触運動学習システムの開発	西村　崇宏	令和３～５年度

受託研究

令和３年度に実施する受託研究課題は以下のとおりです。

令和３年度 受託研究課題一覧

研究課題名	委託機関	研究代表者	研究期間
盲ろう幼児児童生徒の支援体制整備に関わる研究	一般財団法人ファーストリテイリング財団	－	令和２～３年度
魔法のプロジェクトを通じた特別支援教育のICT活用研究	ソフトバンク株式会社	青木　高光	令和２～３年度

刊行物による研究成果等の普及

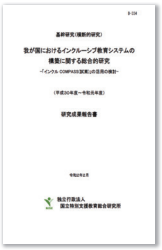
NISEでは、実施した研究における研究成果は研究成果報告書、サマリー集、ガイドブック等様々な形態で作成し、全てWEBサイトに掲載しています。これらの刊行物は毎年度作成することで、最新の研究成果をできる限り早く教育現場に普及できるようにしています。

研究成果報告書、書籍、リーフレット

NISEでは、実施する研究課題が終了した時点で、その成果をまとめた「研究成果報告書」を研究課題ごとに作成し、WEBサイトにも掲載しています。

さらに、NISEの研究成果をより分かりやすく知っていただくため、研究課題ごとの成果等を簡潔にまとめた「研究成果報告書サマリー集」を毎年度作成し、全国の教育関係機関等に送付するとともに、WEBサイトにも掲載しています。

また、研究成果の中で、教育現場での指導や支援等にすぐに役立つ情報については、活用しやすいようにリーフレット、ガイドブック等にまとめて、市販の書籍として発行しています。

研究成果報告書	研究成果報告書サマリー集（令和２年度終了課題）　令和３年５月	
	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究 －地域と学校での主体的取組を支援する「インクルCOMPASS」の提案－ 令和３年３月	
	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究 －新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施に向けた現状と課題－ 令和３年３月	
	聴覚障害教育におけるセンター的機能の充実に関する研究－乳幼児を対象とした地域連携－ 令和３年３月	
	知的障害特別支援学級担当者サポートキットの開発 －授業づくりを中心に－　令和３年３月	
	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究 令和３年３月	
	社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研究 －発達障害等の特性及び発達段階を踏まえての通級による指導の在り方に焦点を当てて－ 令和３年３月	
	インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究　令和３年３月	
	交流及び共同学習の充実に関する研究　令和３年３月	
	学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究　令和２年３月	
	多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究　令和２年３月	
	インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究　令和２年３月	
	教育相談・就学先決定に関する研究　令和２年３月	
	言語障害のある中学生への指導・支援の充実に関する研究　令和２年３月	
	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究 －「インクルCOMPASS（試案）の活用の検討」－ 令和２年３月	

書籍	特別支援教育の基礎・基本 2020 （株）ジアース教育新社，ISBN978-4-86371-548-6　令和２年６月	
	特別支援学級での自閉症のある子どもの自立活動の指導 －確かに育つ！子ども、確かに高まる！教師の指導力－ （株）ジアース教育新社，ISBN978-4-86371-575-2　令和３年３月	
	ここにヒントがある！インクルーシブ教育システムを進める10の実践 －「インクルCOMPASS」で強みや課題をみつけよう－ （株）ジアース教育新社，ISBN978-4-86371-574-5　令和３年３月	
リーフレット及び事例集	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究 －新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施に向けた現状と課題－ 令和３年３月	
	発達障害のある子供の教育に関わる全ての教員の皆様へ もしかして、それ･･･二次的な障害を生んでいるかも･･･？ 令和３年３月	
	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究　令和３年３月	
	難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた研修パッケージ　令和３年３月	
調査報告書	重複障害のある子供の教育に関する調査報告書　令和３年３月	

研究紀要

NISEでは、特別支援教育に関する未発表の論文等を所内より募集し、内容審査を行った上で、「国立特別支援教育総合研究所研究紀要」として毎年度発表しています。研究紀要は、WEBサイトに掲載しています。

◆ 研究紀要第48巻（令和３年３月発行）の主な内容

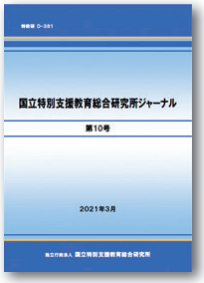
①事例報告
- 通常の学級における教師-児童間相互作用と教師と他者との連携の関連
  －児童とのかかわりに対する教師の評価の分析から－

②調査資料
- 保護者への調査からみられる就学先決定に関する課題とその解決に向けた考察
  －フォーカス・グループ・インタビューによる調査の結果から－
- 高等学校における通級による指導の制度化当初の設置校及び指導にかかわる教員の状況調査

③研究展望
- 視覚障害教育における触覚の活用に関連する知見の整理

特総研ジャーナル

NISEでは、研究をはじめとする様々な活動の成果をまとめた「国立特別支援教育総合研究所ジャーナル（特総研ジャーナル）」を毎年度作成し、WEBサイトに掲載しています。

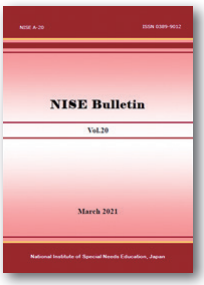


◆ 特総研ジャーナル第10号（令和３年３月発行）の主な内容

①令和２年度研究課題一覧
②研究報告
・高等学校における合理的配慮の提供の現状と課題
　－高等学校23校を対象としたインタビュー調査より－
・病弱・虚弱教育における病気の児童生徒の病類の現状
　－全国病弱虚弱教育連盟「令和元年度病類調査」結果から－
・教材・教具（ICT）の活用に関する研修プログラムの作成に向けた実態調査
・入院児童生徒への支援時期・支援手段・教育的ニーズの視点に基づいた支援事例の考察
　－「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」の成果報告書の情報より－
③国際会議・外国調査等の報告
④学会等参加報告
⑤事業報告
⑥諸外国における インクルーシブ教育システムに関する動向
⑦NISEトピックス

NISE Bulletin

NISEでは、研究をはじめとする様々な活動の成果を英文でまとめた「NISE Bulletin」を毎年度作成し、WEBサイトに掲載しています。



◆ NISE Bulletin Vol.20（令和３年３月発行）の主な内容

・令和２年度研究課題の概要
・令和元年度研究成果サマリー
・韓国国立特殊教育院との交流－日韓プレセミナー報告－
・トピックス
・特別支援教育資料の概要
・国立特別支援教育総合研究所研究紀要第47巻の要旨

詳しくはこちら→
NISE WEBサイト ＞ 報告書・資料
https://www.nise.go.jp/nc/report_material

NISEの研修事業

都道府県等における指導者の養成を目的とする研修の実施

NISEでは、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の養成を図るため、各都道府県等における障害種ごとの教育の中核となる教職員を対象とした専門的・技術的な研修及び各都道府県等における指導的立場にある教職員を対象とした特別支援教育政策上や教育現場等の喫緊の課題等に対応した専門的・技術的な研修として、以下の研修を実施しています。

令和３年度研修事業計画

名　　称			期　　間	募集人員
特別支援教育専門研修	第一期	発達障害・情緒障害・言語障害教育コース ・発達障害・情緒障害教育専修プログラム ・言語障害教育専修プログラム	令和３年 ５月10日（月）～７月９日（金） ・オンライン実施	70名
	第二期	知的障害教育コース ・知的障害教育専修プログラム	令和３年 ９月８日（水）～11月12日（金） ・オンライン実施を基本に集合・宿泊研修期間は①10月４日～10月８日、②10月25日～10月29日のいずれかで実施	70名
	第三期	視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース ・視覚障害教育専修プログラム ・聴覚障害教育専修プログラム ・肢体不自由教育専修プログラム ・病弱教育専修プログラム	令和４年 １月11日（火）～３月16日（水） ・オンライン実施を基本に集合・宿泊研修期間は①１月24日～１月28日、②２月14日～２月18日のいずれかで実施	70名
インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会・セミナー	特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会		令和３年８月23日（月） ・オンライン実施	70名
	高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会		令和３年９月３日（金） ・オンライン実施	70名
	交流及び共同学習推進指導者研究協議会		令和３年11月19日（金） ・オンライン実施	70名
	発達障害教育実践セミナー		令和４年１月27日（木） ・オンライン実施	70名程度
連携研修	特別支援学校寄宿舎指導実践協議会		令和３年７月21日（水） ・オンライン実施	50名程度

上記の他、「難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた地区別研究協議会」を開催予定。いずれも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置を図った上で実施します。

昭和46年のNISE創設と同時に研修事業を開始して以来、令和３年３月31日現在、特別支援教育専門研修の受講者数は9,838名※、その他の研修の受講者数も12,393名を数え、それぞれの課程を修了しています。これらの方々は、全国の学校や教育関係機関等で活躍されています。

※特別支援教育専門研修の前身である特殊教育中堅教員養成研修（短期研修）の修了者数を含んでいます。

詳しくはこちら→

NISE WEBサイト ＞ 研修

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar

幅広い教職員の資質向上に係る支援

NISEでは、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、全ての学校種の教員について特別支援教育に関する知識・技能を身に付けることが求められていることから、幅広い教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するための事業を実施しています。

インターネットによる講義配信「NISE学びラボ～特別支援教育ｅラーニング～」

NISEでは、各都道府県等において障害のある児童生徒等の教育に携わる教員をはじめ、幅広い教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するため、インターネットによる講義配信を行っています。

講義内容は、以下の内容に区分され、140以上の講義コンテンツを配信しています。

・インクルーシブ教育システムの構築など特別支援教育全般の基礎理論や総合的・横断的な内容
・各障害種別の専門性（概論、教育課程、指導法等）に関する内容
・通常の学級における学びの困難さに応じた指導に関する内容

個人登録を行うことによって、全ての講義について、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等から無料で視聴できます。また、団体登録を行った教育委員会や学校等は、受講者のニーズに合わせて研修プログラムを設定し、教職員等の研修に活用することができます。

講義配信コンテンツは、P24～28「講義配信『NISE学びラボ』コンテンツ一覧」をご覧ください。

詳しくはこちら→	NISE　WEBサイト ＞ NISE学びラボ https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online

免許法認定通信教育

NISEでは、特別支援学校教諭免許状取得率の向上に寄与することを目的として、特に免許状取得率の低い視覚障害教育領域及び聴覚障害教育領域について、教育職員免許法施行規則第七条表の第二欄に掲げる科目のインターネットによる免許法認定通信教育を開講しています。受講料は無料です。

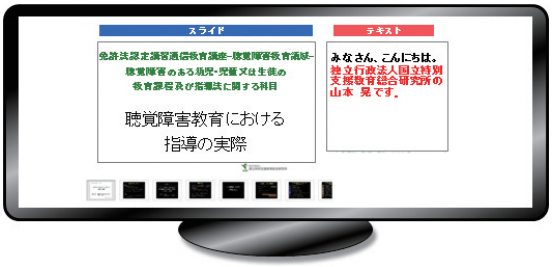
◆ 令和３年度実施概要

［前期］

開設科目：視覚障害児の教育課程及び指導法（１単位）
　　聴覚障害児の教育課程及び指導法（１単位）
講習期間：令和３年５月10日（月）～令和３年８月20日（金）
単位認定試験日：令和３年９月11日（土）
受講定員：各科目200名

［後期］（予定）

開設科目：視覚障害児の教育課程及び指導法（１単位）
　　聴覚障害児の教育課程及び指導法（１単位）
講習期間：令和３年10月４日（月）～令和４年１月14日（金）
単位認定試験日：令和４年２月６日（日）
受講定員：各科目200名



※映像講義のイメージです。
読み上げ原稿も表示しています。

お問い合わせ→	総務部研修情報課（資質向上支援係） E-mail：a-shishitsu@nise.go.jp

NISEの情報普及活動

セミナー等を通じた情報普及

特別支援教育推進セミナー

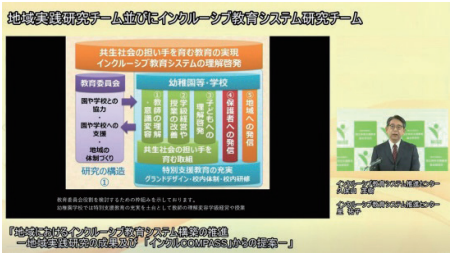
全国を地区ブロックに分け、ブロック内の特別支援教育の理解啓発を図るための特別支援教育推進セミナーを年間３回開催します。各地域の課題や必要としている情報を把握し、各関係団体等と連携して、特別支援教育等に関する有益な情報を提供し、ブロック内の交流促進や関係構築を図ります。

研究所セミナー

研究所で実施した研究や特別支援教育の重要課題について、国の内外の研究者を招聘したシンポジウム及び講演等を行います。

期　日：令和４年２月４日（金）～２月５日（土）
会　場：国立オリンピック記念青少年総合センター
（東京都渋谷区）

研究所セミナーの様子（令和元年２月撮影）



研究所セミナー（オンライン）の様子（令和２年度）

※新型コロナウイルス感染症対応のため、開催期日、会場、開催方法を変更する場合もあります。

詳しくはこちら→	NISE WEBサイト ＞ 研究所セミナー https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/special_seminar

世界自閉症啓発デー関連事業

毎年４月２日は国連で定められた世界自閉症啓発デーです。世界自閉症啓発デーに関連するイベント等を関係機関との共催で毎年開催しています。

詳しくはこちら→	世界自閉症啓発デー公式サイト http://www.worldautismawarenessday.jp/htdocs/

WEBサイトを通じた情報普及

NISEでは、特別支援教育全般に関する情報をはじめ、インクルーシブ教育システム構築に関する情報、発達障害に関する情報、教材や支援機器の実践事例等、様々なニーズに応じた形でWEBサイトを通じて用意しており、特別支援教育の関係者はもちろん、一般の方を対象とした情報提供を行っています。

発達障害教育推進センター WEBサイト

発達障害教育推進センターは、全ての国民が発達障害を理解し、共に手を携える共生社会を目指した理解啓発を目的として、WEBサイト等を通じて広く情報普及活動に取り組んでいます。また、全国の教育関係機関や国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター等と連携した取組も進めています。

以下のような情報を提供しています。

◆ WEBサイトを通じて提供している情報の主な内容

＜発達障害のある子供について＞

・基本的な理解、対応や支援
・発達障害に関するＱ＆Ａ
・関連する研究
・イベントや研修会等
・講義コンテンツ（※）
・教材・教具や支援ツール等
・国の動向や施策・法令

※コンテンツの一部は、YouTubeでも公開しています。https://www.youtube.com/user/NISEchannel

詳しくはこちら→　**発達障害教育推進センター　WEBサイト**
http://cpedd.nise.go.jp/

インクルーシブ教育システム推進センター WEBサイト

インクルーシブ教育システム推進センターのWEBサイトでは、インクルーシブ教育システム構築を一層推進するために、本センターが取り組んでいる業務について情報提供をしています。

◆ WEBサイトを通じて提供している情報の主な内容

・インクルーシブ教育システムに関する基礎知識
・諸外国の最新情報の収集と国際交流
・地域支援事業の推進
・インクルDBの活用推進

詳しくはこちら→　**インクルーシブ教育システム推進センター　WEBサイト**
https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center

特別支援教育教材ポータルサイト（支援教材ポータル）

平成25年８月、文部科学省が設置した「障害のある児童生徒の教材の充実に関する検討会」による報告において、国等の役割として、「障害の状態や特性に応じた教材や支援機器、指導方法、活用事例等に関する全国レベルで情報交換するためのデータベースの作成」が示されました。

これを受けて、NISEでは、教材・支援機器の活用に関する実践事例や関連情報を広く提供するために、「特別支援教育教材ポータルサイト」を、平成27年３月から運用しています。

詳しくはこちら→　**特別支援教育教材ポータルサイト**
http://kyozai.nise.go.jp/

研究所の展示室・演習室

発達障害教育推進センター展示室

発達障害に関する理解の促進、適切な対応や支援の充実を目的として、発達障害に関する基本的な理解、対応や支援に関するパネル展示、教材・教具や支援ツール、参考図書等の紹介を行っています。発達障害の特性を体験的に学ぶコーナーもあります。

教育支援機器等展示室［ｉライブラリー］

ｉライブラリーは、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を実現する様々な教育支援機器やソフトウエアの展示室です。

ｉライブラリーでは、NISEが開発した教育支援機器やソフトウエアをはじめ、学校で利用可能な市販品についても障害種ごとにコーナを設け、説明パネル等を使ってわかりやすく紹介しています。

詳しくはこちら→

ｉライブラリー　WEBサイト
http://forum.nise.go.jp/ilibrary

ICT活用実践演習室［あしたの教室（通称）］

あしたの教室（通称）では、GIGAスクール構想による１人１台のタブレット端末をはじめとするICT機器を活用した指導方法や、教室における合理的配慮の可能性を体験的に学ぶことができます。

この教室では、教員研修等で模擬授業等の演習（遠隔による配信を含む。）を行うことが可能です。研究所がこれらの体験的な学びを通して得られる知見を整理して発信することや、特別支援教育に役立つ基礎的研究活動の研究設備としての機能も期待されます。

図書室

NISEの図書室では、特別支援教育に関する国内外の図書等を収集・整理・保存し、閲覧、文献複写等のサービスを行っています。

特別支援教育の専門書を中心とする図書約80,000冊、学術雑誌等の逐次刊行物約2,000種類のほか、全国の特別支援教育関係機関が発行する研究・実践報告書など約30,000冊の資料を所蔵し、これらの蔵書目録をインターネット上で公開しています。

NISEの図書室はどなたでも利用できます。ご利用の際は、Webサイトの専用フォーム、メール又はFAXにて事前連絡をお願いします。

メール: a-tosho@nise.go.jp

FAX: 046-839-6939

特色ある所蔵資料

名称	内容
研修成果報告書	NISEが実施する特別支援教育専門研修の受講者が、修了時に約２ヶ月間の研修成果をまとめた研修レポートをはじめ、NISE創設以来の研修成果報告書を保管しています。
特別支援教育関係機関刊行物	文部科学省発行資料や、全国の特別支援教育関係機関が発行した研究・実践成果報告書等の刊行物を網羅的に収集し、保管しています。
辻村文庫	NISE初代所長である故・辻村泰男氏の旧蔵書のうち、ご遺族より寄贈していただいた特別支援教育関係資料約500冊を、「辻村文庫」として別置し、保管しています。

詳しくはこちら→ NISE WEBサイト ＞ 図書室の利用
https://www.nise.go.jp/nc/library

研究所公開

NISEにある情報普及のための施設を見学できます。

体験型の展示を通し研究成果等を紹介しています。

会　場：NISE

研究所公開の様子（令和元年11月撮影）

詳しくはこちら→ NISE　WEBサイト ＞ 研究所公開
https://www.nise.go.jp/nc/laboratory_release

インクルーシブ教育システム推進に向けた国際事業及び自治体・学校への支援

諸外国の最新動向の把握や海外の機関との研究交流

◆ 諸外国の最新動向に関する情報収集と発信

NISEでは、我が国の特別支援教育の取組や研究成果を海外に情報発信するとともに、国別調査班を組織し、特任研究員の協力により諸外国の障害のある子供の教育に関する政策等の状況を収集しています。調査結果は、NISEのWEBサイトや「特総研ジャーナル」等を通じて公表しています。

◆ 国際シンポジウム等の開催

各国のインクルーシブ教育システムに関する施策や教育実践について見聞を広め、日本の教育実践についても振り返り、今後の我が国のインクルーシブ教育システム推進の方向性を考える機会として国際シンポジウム等を開催しています。

国際シンポジウム（令和元年度）

◆ 海外の研究機関等との交流

海外の研究機関等と交流協定を締結し、研究職員の派遣や海外からの研究者等の招聘等、特別支援教育やインクルーシブ教育システムに関する情報交換や研究者間の交流を行っています。令和３年度は、韓国国立特殊教育院主催の「ポストコロナ時代における障害のある子供への未来教育の国際動向（仮）」への参加や、本研究所と韓国国立特殊教育院との協議会の開催を計画しています。

【 研究交流協定締結機関 】

韓国国立特殊教育院（平成７年11月締結、令和元年７月再締結）

ケルン大学人間科学部（平成10年11月締結）

フランス国立特別支援教育高等研究所（平成27年３月締結）

韓国国立特殊教育院との覚書署名式（令和元年度）

◆ 研究職員の海外派遣や海外の研究者等の受入

国際会議への参加・発表やインクルーシブ教育システムに関する状況調査等のため、研究職員を海外に派遣し、研究交流を行っています。また、独立行政法人国際協力機構（JICA）等の依頼により、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修を受け入れています。

地域支援事業

NISEでは、地域におけるインクルーシブ教育システム構築を一層推進するために、「地域支援事業」を実施しています。これは、各都道府県及び市町村がインクルーシブ教育システムを構築していく上で直面する課題について、その解決を図るための事業であり、事業に参画した都道府県及び市町村教育委員会とNISEが協働して推進するものです。推進に当たっては、第４期中期目標期間中に実施した「地域実践研究」等の取組や成果も活用しています。

13市町とNISEの担当者との打ち合わせの様子

令和３年度は、全国10道府県の13市町が参画し、インクルーシブ教育システムの理解啓発の取組、地域の支援体制の構築、校内研修の推進など、市町の課題や目的に応じた事業に取り組んでいます。事業の成果は、各市町において報告会の実施やリーフレットの作成等を通じて普及する他、事業報告書等をNISEのWEBサイトに掲載するなどして普及する予定です。

地域実践研究事業報告

第４期中期目標期間に、インクルーシブ教育システム構築に向けて地域や学校の直面する課題を研究テーマとして実施した地域実践研究事業の成果を「地域実践研究事業報告書」としてまとめ、ホームページから提供しています。

令和２年度報告書

インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）

NISEでは、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を広く提供するために、「インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）」を、平成25年11月から運用しています。インクルDBは、子供の実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を掲載しています。

◆ インクルDBのコンテンツ

【「合理的配慮」実践事例データベース】

文部科学省の委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」及び「発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業」において取り組まれた実践事例について掲載しています。

実践事例データベースは、子供の在籍する学校や障害種別等で事例を検索できるようになっています。検索した事例をダウンロードすることで詳細な情報が得られます。

令和３年４月現在、559件の実践事例を掲載しています。

【インクルDBを活用した研修例】

インクルDBを活用した研修プログラム案や実際に行われた研修や授業等を紹介しています。

【交流及び共同学習実践事例集】

心のバリアフリー学習推進会議の提言に基づき、交流及び共同学習についての関連情報や事例を掲載しています。

【関連情報】

・法令・施策や関連用語の解説など
・インクルーシブ教育システム構築に関する保護者向けのＱ＆Ａ
・研究報告や関連するWebサイトへのリンク
・教育相談に関する情報
・学校における遠隔授業や動画配信等の情報

詳しくはこちら→	インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB） http://inclusive.nise.go.jp/

インクルーシブ教育システム構築に関する相談支援

NISEでは、各都道府県等からのインクルーシブ教育システムの構築に関する相談に対して、研修会等への講師派遣や、地域実践研究の取組や成果の提供等を通じて支援を行っています。

関係機関等との連携・協力

全国の教育委員会、学校、関係団体、大学との連携・協力

NISEでは、全国の教育委員会、特別支援教育センター、園･学校等を研究協力機関として公募するとともに、テーマ別研究班において関係機関と連携を図るなど、実際的・実践的な研究の円滑な推進に努めています。

また、関係学校長会等が実施する調査研究への協力を行うほか、全国特別支援教育推進連盟と連携･協力し、文部科学省と三者共催で全国特別支援教育振興協議会を開催しています。

さらに、全国の都道府県・政令指定都市立教育センターが加入する全国特別支援教育センター協議会と連携して、各センターの機能向上のため、研究協議会を年１回開催しています。令和３年度はオンラインを活用して開催します。

全国特別支援教育センター協議会の様子（第41回静岡県大会）

令和３年３月には、広島大学との包括連携協定を締結し、4月より西日本ブランチ広島オフィスを開設するなど、大学との連携も推進しています。

日本人学校等への支援

NISEでは、日本人学校及び補習授業校に対して、特別支援教育に関する情報提供を行っています。

また、日本人学校へメール等による相談支援を実施しています。

さらに、文部科学省と連携して日本人学校における特別支援教育の状況調査を実施し、在外教育施設に赴任する教員の研修会等において、情報提供を行っています。

令和元年度からは文部科学省の在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業の１つである「日本人学校における特別支援教育に関する遠隔指導の実施に向けた実践的研究」を受託し研究に取り組んでいます。

筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力

筑波大学附属久里浜特別支援学校の前身である国立久里浜養護学校は、昭和48年９月に、国立特殊教育総合研究所（当時）が行う実際的な研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う学校として設置されました。その後、平成16年４月に、国立久里浜養護学校当時の実践を踏まえつつ、知的障害を伴う自閉症の子供たちに対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育を行い、併せてその障害を補うために必要な知識技能を授けるため、筑波大学附属久里浜養護学校として設置されました。その後、平成19年に筑波大学附属久里浜特別支援学校と改称しています。

NISEと筑波大学は、平成16年７月に教育研究交流に係る協定を締結し、NISEと同校は相互協力の下に様々な取組を推進しています。

筑波大学附属久里浜特別支援学校

詳しくはこちら→	筑波大学附属久里浜特別支援学校WEBサイト https://www.kurihama.tsukuba.ac.jp/

講義配信「NISE学びラボ」コンテンツ一覧

「特別支援教育全般」一覧　　令和３年５月１日現在

コース	コンテンツ名
インクルーシブ教育システム関連	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（１）　障害児教育の歴史
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（２）　特別支援教育の理念と基本的な考え方
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（３）　学習指導要領と教育課程の編成
	特別支援教育におけるICFの活用
	特別支援教育における教材・教具の活用
	特別支援教育におけるICTの活用
	特別支援教育におけるカウンセリング技法
	インクルーシブ教育システムにおける交流及び共同学習
	「個別の指導計画」の作成と活用
	自立活動の指導－指導計画の作成－
	インクルーシブ教育システムの構築
	インクルーシブ教育システムにおける専門性と研修
	特別支援学校の地域におけるセンター的機能①　－センター的機能の考え方と内容－
	特別支援学校の地域におけるセンター的機能②　－センター的機能が有効に発揮されるために－
	障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援
	合理的配慮と基礎的環境整備
	特別支援教育の視点を生かした学校経営
各学びの場における教育	多様な学びの場（１）特別支援学校の教育
	多様な学びの場（２）小学校・中学校等
	「通級による指導」の成立とその意義
	通級による指導を担当する皆さんへ「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」の活用について
幼児期における特別支援教育	幼児期における特別支援教育の考え方
	幼児期の具体的な関わり方の実際
	幼児期の関係機関との連携
	幼児期の子どもをもつ保護者とのかかわり
高等学校段階における特別支援教育	高等学校に求められる合理的配慮と基礎的環境整備
	高等学校における校内支援体制づくり（１）
	高等学校における校内支援体制づくり（２）
	高等学校における特別な配慮を要する生徒への進路指導
	高等学校における特別支援教育に関する研修及び授業研究の進め方
	高等学校段階（思春期）における障害のある生徒の心理と自己理解

役割と連携	小学校・中学校管理職のための特別支援学級における教育課程編成
	特別支援教育コーディネーター－役割と活動を中心に－
	教育と福祉・医療等との連携
発達、生理・病理	医学的理解－行動上の問題・てんかん－
	小・中学校に在籍する健康面への配慮が必要な児童・生徒の理解
	発生期、胎生期及び周産期における障害
	中枢神経系における障害
各障害に関連する諸検査	主な検査の種類と方法及び留意事項－発達検査法と知能検査法－
	検査の意義とアセスメント－アセスメントの目的と意義－
	視覚検査法
	聴力検査

「障害種別の専門性」一覧

令和３年５月１日現在

コース	コンテンツ名
視覚障害	視覚障害の特性と教育課程
	視覚障害教育における教科等の指導とキャリア教育・職業教育
	視覚障害教育における情報機器等の活用
	視覚障害教育における自立活動
	視覚に障害のある子どもにおける触覚活用
	視覚障害教育における教科指導法－国語の指導－
	視覚障害児の認知と指導
	弱視学級における指導と学習支援
	弱視用視覚補助具概論－弱視レンズの選定と指導－
聴覚障害	きこえのしくみと検査・補聴機器
	聴覚障害児のコミュニケーション
	聴覚障害児への教育的支援
	聴覚障害教育概論
	聴覚障害乳幼児の療育と指導
	手話の活用
	聴覚機能の理解と指導
	特別支援学校（聴覚障害）における進路指導・職業教育 －キャリア教育の充実－
	聴覚障害児の自己理解と教育
知的障害	知的障害の理解と教育的対応の基本
	知的障害教育における教育課程の編成① －知的障害教育における教育課程の考え方－
	知的障害教育における教育課程の編成② －知的障害教育における各教科－
	知的障害教育における教育課程の編成③ －知的障害教育における道徳科及び領域等－
	知的障害教育の各教科における指導の工夫① －指導計画の作成と内容の取扱いの要点 小学部－
	知的障害教育の各教科における指導の工夫② －指導計画の作成と内容の取扱いの要点 中学部－

知的障害	知的障害教育の各教科における指導の工夫③ －指導計画の作成と内容の取扱いの要点 高等部－
	知的障害教育の各教科における指導の工夫④ －指導計画の作成と各教科全体にわたる内容の取扱い－
	障害のある児童生徒のキャリア教育
	知的障害教育における自立活動の指導
	知的障害教育における各教科等を合わせた指導① －各教科等を合わせた指導の考え方－
	知的障害教育における各教科等を合わせた指導② －日常生活の指導、遊びの指導－
	知的障害教育における各教科等を合わせた指導③ －生活単元学習、作業学習－
	知的障害教育の教育課程の歴史① －知的障害教育の学習指導要領制定までの歩み－
	知的障害教育の教育課程の歴史② －知的障害教育の学習指導要領の変遷－
肢体不自由	肢体不自由の定義と障害特性
	肢体不自由教育における教育課程
	肢体不自由教育の実際その１
	肢体不自由教育の実際その２
	肢体不自由のある子どもへのAAC
	肢体不自由教育におけるICFの活用
	肢体不自由教育の歴史
	小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する実態
病弱・身体虚弱	病弱・身体虚弱教育の特性と教育課程
	病弱・身体虚弱教育における指導の実際
	病弱・身体虚弱教育における情報機器活用の実際
	子どもの身体発育と運動発達
	病弱教育の歴史
	慢性疾患の理解
言語障害	言語障害の定義・特性・分類　言語障害教育の制度
	言語障害のある児童生徒の理解と指導 －構音障害・吃音障害－
	言語障害のある児童生徒の理解と指導 －言語機能の基礎的事項の発達の遅れや偏りに関する障害－
	構音障害の理解と指導
	吃音の理解と対応 －自己肯定感への支援－
	口唇口蓋裂の医療
	言語障害教育の現状と課題 －全国調査の結果から－
	ことばの遅れをめぐって
情緒障害	情緒障害教育概論
	情緒障害のある児童生徒の指導と対応
	関係性の障害とその対応
	選択性かん黙などの心理的要因が関与する児童生徒の理解と指導

発達障害 発達障害	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（1）定義と判断
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（2）学校における気づきと実態把握
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（3）特性の理解
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（4）特性に応じた指導
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（5）個別の指導計画の作成と活用
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（6）校内支援体制の構築
	自閉症教育概論
	自閉症のある児童生徒の自立活動の指導
	自閉症のある児童生徒の家族支援
	自閉症のある子どもの教育課程
	自閉症のある子どもの実態把握
	通常の学級における自閉症スペクトラム障害（ASD）のある児童生徒の指導の対応
	自閉症のある子どものためのソーシャルスキル指導
	ADHDのある子どもの理解と対応
	発達障害のある子どもの思春期の課題と支援（前半）
	発達障害のある子どもの思春期の課題と支援（後半）
	幼児期の発達障害
	LDのある子どもの理解と対応
	アセスメントの目的と活用
	発達障害のある子どもの通常の学級における支援 －協同学習による一人一人のちがいを生かす支援－
	発達障害のある子どもの通級による指導
重複障害	重複障害の概念と教育課程
	訪問教育における指導
	重複障害のある子どもの実態把握と指導の基本的観点
	重複障害のある子どものコミュニケーション
	盲ろうの子どもたちの理解と指導
	重複障害のある子どもとのコミュニケーションを支える環境づくり
	重複障害教育の現状と課題
	重度・重複障害者の卒後の支援 －地域における当事者中心の支援を目指して－
	盲ろうの子どもたちの指導の実際
	手厚い支援を必要としている子どもが主体となる教育計画と実践 －情報パッケージ「ぱれっと」の提案

「通常の学級における学びの困難さに応じた指導」一覧　　令和３年５月１日現在

コース	コンテンツ名
概論	学習指導要領にみる特別支援教育
	教育課程の連続性と個に応じた指導の充実
小学校段階	小学校国語
	小学校社会
	小学校理科
	小学校音楽
	小学校図画工作
	小学校家庭
	小学校体育
	小学校特別の教科道徳
	小学校総合的な学習の時間
中学校・高等学校段階	中学校・高等学校国語

最新のコンテンツ一覧はこちら→

NISE　WEBサイト ＞ NISE学びラボ

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online

最新の研究成果物リスト（研究成果報告書以外）

（令和３年５月１日現在）

NISEの近年の研究成果を教育現場に還元するために、研究成果報告書以外の研究成果物をリストにして提供します。都道府県教育委員会や教育センターの各担当者等が研修会や研究協議会を企画・実施する際に、こうした研究成果物を活用してもらえるように今後、NISEのホームページでも情報提供していきます。

１．書籍

インクル関連	ここにヒントがある！インクルーシブ教育システムを進める10の実践－「インクルCOMPASS」で強みや課題をみつけよう－ （株）ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-574-5　令和３年３月
自閉症	特別支援学級での自閉症のある子どもの自立活動の指導－確かに育つ！子ども、確かに高まる！教師の指導力－ （株）ジアース教育新社　SBN978-4-86371-575-2　令和３年３月
特別支援教育	特別支援教育の基礎・基本 2020　（株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-548-6　令和２年６月
知的障害	「知的障害のある子どもと共に学ぶ」を考える－北欧の実践をふまえて－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-489-2　平成31年１月
教育課程	小学校・中学校 通常の学級の先生のための手引き書－通級による指導を通常の学級での指導に生かす－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-450-2　平成30年２月
知的障害	育成を目指す資質・能力を踏まえた教育課程編成 －知的障害教育におけるアクティブ・ラーニングの活用－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-446-5 C3037　平成30年１月
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築に向けた地域における体制づくりのグランドデザイン －文部科学省モデル事業等の実践を通じて－　（株）東洋館出版社 ISBN978-4-491-03374-7　平成29年７月
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築のための学校における体制づくりのガイドブック－全ての教員で取り組むために－ （株）東洋館出版社　ISBN978-4-491-03373-0　平成29年７月
病弱	病気の子どもの教育支援ガイド（株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-406-9 C3037　平成29年３月
重複障害	手厚い支援を必要としている子どものための情報パッケージ「ぱれっと（PALETTE）」 －子どもが主体となる教育計画と実践をめざして－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-372-7 C3037　平成28年９月
知的障害	「育成を目指す資質・能力」をはぐくむための知的障害教育における学習評価の実践ガイド－学習評価の９実践事例を踏まえて－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-384-0 C3037　平成28年９月

２．リーフレット

教育課程	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究　令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/966b8f7b123a927260469aa53f5f7a5b?frame_id=1235
肢体不自由	全国小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する状況　令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/083cf4d3c453088ad68d595546982b3f?frame_id=1235
肢体不自由	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究 令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/5e05240dd26f61653fb0fa1795b385ce?frame_id=1235
発達障害	発達障害のある子供の教育に関わる全ての教員の皆様へ もしかして、それ･･･二次的な障害を生んでいるかも･･･？ 令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/08f50f2da9864d68fd321cb3595a1aaa?frame_id=1235
インクル関連	「インクルCOMPASS」ガイド　令和３年２月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0268a82e3496739df67d904da372318f?frame_id=1235
言語障害	言語障害のある中学生の指導・支援の充実のために　令和２年５月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/b63291da546834b573084bb47ce544dc?frame_id=1235
自閉症	自閉症のある子どもの自立活動の指導について考えよう！　令和２年５月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/a89cfe3fd46491ddf8b4e03e10562022?frame_id=1235
インクル関連	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究　令和２年２月 －インクルーシブ教育システムを推進するための地域や学校等の主体的な取組を支援します インクルCOMPASS－ https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/bfd14f4ac6c63022dcb6b929310c8761?frame_id=1235

病弱	精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究－Co-MaMe（連続性のある多相的多階層支援）－ 令和２年１月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/e8ec1140df63665bb0e2bceea764638a?frame_id=1235
視覚障害	「視覚障害を伴う重複障害の児童生徒等の指導に関する研究」－特別支援学校（視覚障害）における指導を中心に － 平成31年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/461abb9ee6ba1a2b30ec92c91cdd3f6b?frame_id=1235
インクル関連	「我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究」調査報告　平成30年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/93eacda6121c450a0b843bca451a099e?frame_id=1235
教育課程	通常の学級と通級による指導の学びの連続性に焦点を当てて　平成30年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/46f18d946d010e055a0547df7abd493c?frame_id=1235
自閉症	特別支援学校（知的障害）での自閉症教育の取組状況と課題（速報）　平成29年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/91d5db7cd491b22652ba339d7034f5bc?frame_id=1235
重複障害	みなさまの身近に視覚と聴覚の両方に障害のある「盲ろう」のお子さんはいらっしゃいませんか？　平成29年２月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/fefac0c84a2ac15ebaa8e954f4363a47?frame_id=1235
ICT・AT	特別支援教育でICTを活用しよう　平成28年11月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/6a5f44789228efe8865a427ab8401797?frame_id=1235

３．ガイドブック・事例集

重複障害	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろうの子どもたちの育ちと学びのために ―教職員、保護者、関係するみなさまへ―　令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/9353ab9431f5f2e41a616f6cd3dc3fc1?frame_id=1235
聴覚障害	難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた研修パッケージ　令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/study/others/disability_list/hearing/package
発達情緒	高等学校教員のための「通級による指導」ガイドブック　平成30年３月 基幹研究【発達障害等のある生徒の実態に応じた高等学校における通級による指導の在り方に関する研究 －導入段階における課題の検討－】 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/558d18d1449d159d02213ad1a04a0e8f?frame_id=1235
インクル関連	地域におけるインクルーシブ教育システムの推進　平成30年６月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/60e1758f4ac7229c99fcd56c9ecab9fc?frame_id=1235
聴覚障害	聴覚障害教育 指導実践事例集　平成30年３月 http://inclusive.nise.go.jp/?page_id=106
教育課程	小学校・中学校管理職のための特別支援学級の教育課程編成ガイドブック－試案－　平成28年３月 http://www.nise.go.jp/cms/7,11519,32,142.html
聴覚障害	聴覚障害教育Q&A ～聴覚に障害のある子どもの指導・支援～　平成28年３月 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/11539/20160414-215751.pdf

４．調査報告書

重複障害	重複障害のある子供の教育に関する調査報告書　令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0a3a3ace55c2950cfffc05b6e4f44148?frame_id=1235
聴覚障害	聴覚障害教育における教科指導等の充実に資する教材活用に関する調査（平成29年度）　令和２年１月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/e3703dd71fa32dcab9e60483188315b5?frame_id=1235
視覚障害	特別支援学校（視覚障害）における重複障害幼児児童生徒に関する実態調査 調査報告書　平成30年９月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/dd2de301a673b10df9a3156cf2bea2f4?frame_id=1235
生涯学習	障害者の生涯学習活動に関する実態調査 報告書　平成30年３月 https://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/1619
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築の現状に関する調査報告書　平成29年12月 http://www.nise.go.jp/cms/7,14210,32,142.html
聴覚障害	特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育実態調査 報告書　平成29年９月 http://www.nise.go.jp/cms/7,13965,32,142.html
言語障害	全国難聴・言語障害学級及び通級指導教室実態調査 報告書　平成29年９月 http://www.nise.go.jp/cms/7,13964,32,142.html

NISEの財務・施設

予算・決算

令和３年度 予算額

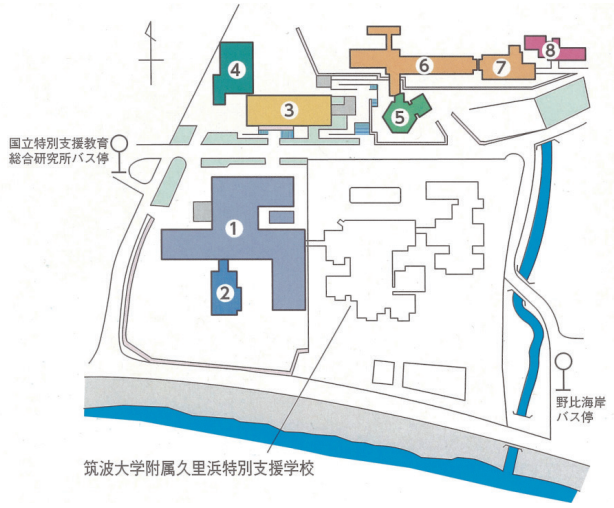
区　分	金額(千円)
運営費交付金	1,101,433
施設整備費補助金	34,000
自己収入	4,921
合　計	1,140,354

令和元年度 決算額

区　分		金額(千円)
運営費事業	人件費	715,497
	物件費	337,948
施設整備費		200,415
寄附金		249
受託事業等(間接経費含む)		14,222
合　計		1,268,331

建物

①研究管理棟
②特別支援教育情報センター棟
③研修棟
④体育館
⑤食堂棟
⑥西研修員宿泊棟
⑦東研修員宿泊棟
⑧生活支援研究棟



寄附のお願い

NISEの業務は、主として国からの運営費交付金等によって活動しておりますが、障害のある子供の教育のより一層の振興を図るため、広く皆様方からの寄附金を受け入れています。

NISEの活動に御理解をいただき、皆様方からの御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今後とも我が国の特別支援教育の振興・充実に努めてまいりますので、何とぞ御理解・御協力を重ねてお願いいたします。

詳しくはこちら：https://www.nise.go.jp/nc/donation

体育施設のご利用案内

体育館やフットサルコートをご利用いただけます。

＜ご利用可能時間＞

体育館：９時～19時

フットサルコート：９時～17時

土曜・日曜・祝祭日もご利用いただけます。

※現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部への貸し出しを中止しています。
※最新の情報はウェブサイトでお知らせいたします。

詳しくはこちら：https://www.nise.go.jp/nc/physical_education

連絡先・交通案内

連絡先

● 国立特別支援教育総合研究所（総務部）

住所：〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス
総務企画課	046(839)6803	046(839)6918	a-somu@nise.go.jp
財務課	046(839)6818	046(839)6916	
研修情報課	046(839)6895	046(839)6915	

● 西日本ブランチ広島オフィス（広島大学東広島キャンパス構内）

住所：〒739-8524　広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院人間社会科学研究科

交通案内

● 京浜急行電鉄ご利用の場合

京急久里浜駅下車

久３ 系統・久里浜医療センター行で約15分、国立特別支援教育総合研究所下車すぐ

久８ 系統・野比海岸行で約20分、終点下車300m

又はタクシー約８分

YRP野比駅下車

徒歩20分、又はタクシー約５分

● JR横須賀線ご利用の場合

久里浜駅下車

久８ 系統・野比海岸行で約15分、終点下車300m

又はタクシー約10分

交通案内図

周辺図

NISEロゴマークデザイン

春になると力強く芽吹く若葉。そのイメージである瑞々しさ、若々しさ、力強さを、特別支援教育のイメージと重ね合わせました。ロゴマークの上に配した丸い形は「障害のある子どもたちや保護者」を、その下に配した左の若葉は「NISE」を、右の若葉は「特別支援学校、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教育機関や医療・福祉・労働等関係諸機関」を表しています。二つの若葉は、お互いに連携・協力しながら、障害のある子どもたちや保護者を支えています。

NISE「子どもとともに」モニュメント

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
NISE National Institute of Special Needs Education

〒239-8585　神奈川県横須賀市野比5-1-1
TEL 046-839-6803　FAX 046-839-6918
URL https://www.nise.go.jp/nc/

NISEメールマガジン→
https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/mail_mag

この要覧で紹介した研究成果報告書、インターネットによる講義配信「NISE 学びラボ」、特総研ジャーナル、発達障害教育推進センター、研究所公開、研究所セミナー、インクルDBなどの詳しい内容は、NISE でまとめて検索できます！

令和３年６月発行　特教研D-383

VEGETABLE OIL INK
再生紙を使用しています